

# 2015 年度事業報告書

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

## I 事業期間

2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日

## II 事業の成果

今年度も、ICT を駆使して、全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う「ソーシャルインクルージョン」の理念を推進し、活動致しました。

パソコンクラブについては、クラブ代表者を中心として、クラブメンバー同士の友好関係を築き、友好関係の中からパソコンのスキルアップを図る勉強会を果敢に実施致しました。

富田林市で勉強会を開催している「とんだばやしうえぶ」、羽曳野市で勉強会を開催している「はびきのうえぶ」では、例年変わらず、住民中心の勉強会を開催しています。

結果、パソコンを生活のニーズに合わせて使用するのではなく、コミュニケーションにより必然的な楽しみのある道具に変えていく活動が広がりました。

パソコン講座については、IT 情報弱者や格差をなくすため、富田林市社会福祉協議会との協働による「身体障がい者・高齢者を対象としたパソコン講習会」を一年間連続で開催致しました。また千早赤阪村社会福祉協議会との協働による「生きがいつくり事業・やさしいパソコン教室」も始まりました。これには、定員を上回る申込があり今後も継続した事業となる予定です。

また、地域住民を対象にした個別指導のパソコン教室は、富田林市（すばるホール、小金台事務所）、羽曳野市（MOMO プラザ）において実施し、日々進化するパソコン技術の普及に成果を上げました。また今後益々、タブレットへの関心は高まると予測されるため、1 月より個別指導のパソコン教室内でタブレット講座を始めています。

太子町、北貴望ヶ丘、あやたホール、キックス、スマイルパソコンクラブにおいては、地域住民が中心となって主催するパソコン講座を講師が共にニーズを引き出し、工夫しながら進める方法で長年に渡り続け、受講生だけでは無く、講師の遣り甲斐、生甲斐作りともなっています。

その他、富田林市人権文化センター講座、就労支援パソコン講座（託児付き）の他、羽曳野市施設管理公社「MOMO プラザ」、河内長野市立の各公民館による集団講座のほか、天野公民館、天見公民館などのパソコンサークルも定着し、地域における IT の底上げの場として根付いています。また 2015 年度より始まった「タブレット講習会」「親子でプログラミング体験講座」も好評で、パソコン講座以外のニーズも高まりつつあります。

経済産業省と NPO 日本ネットワークセキュリティ協会が主催の「インターネット安全教室」は、昨年度より独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) の独自事業となりましたが、引き続き、キャラバン隊として協働し、羽曳野市立西浦東小学校や富田林市立明治池中学校で P T A や教職員向けのインターネット安全教室を実施し、学校や家庭でのセキュリティ教育の重要性を訴えました。

富田林市でも人権文化センターで 2 回のインターネット安全教室を実施しました。講師は、インターネットの危険性だけではなく、東日本大震災における人命救助などインターネットや SNS の利点も強調し、使い方次第で光にも影にもなることを指導しています。

また、日々更新する情報リテラシーの知識を得るために、インターネット安全教室講師トレーニングや、総務省が主催する”e-ネットキャラバン”講師認定講習会に参加しました。

介護予防事業として9年目を迎えた「街かどデイハウスきんき茶ろん」は利用者の高齢化が目立っていますが、定点型介護予防体操教室は定着し、毎回、男女問わず、多くの高齢者が参加しています。定点型認知症予防教室として月2回実施しているiPad教室には遠くから多くの事業所などが見学に訪れるようになりました。利用者にも大人気で参加は30名を超えたため、2クラスに分けて実施しています。また、ノルディックウォーキングも介護予防の人気のひとつです。

富田林市市民公益活動支援センターは、3年目を迎え、150の団体が登録しています。

市民公益活動の交流場所、活動場所として、6ヶ所のネットワークステーション、4ヶ所の公的連携施設では、年間7110名の利用者がありました。2ヶ月に一度のニューズレター発行や講習会を実施して、講習会の参加者は年間131名、メルマガの発行部数は年間113です。私たちの活動は、市民参加の活発な活動として評判が広がり、他市中間支援センターからも何度となく相談や見学があります。南河内のつどい（大阪狭山市、河内長野市、富田林市の市民公益活動団体および中間支援組織や行政、大阪大谷大学が連携して、年に1度のイベントを開催するために月に1度協議会を開催）にも、参加しています。

2月21日には、近隣の大型ショッピングセンター（株）関西都市居住サービスとの協働でエコールロゼを会場とした公益活動の市民への周知啓発が目的のイベント「第11回わくわく広場inとんだばやし」を開催し、市内外おおよそ60団体の参加、約2000人の動員ができました。

その後、各団体より企業や団体同士のマッチング成果があったと聞いています。また今回より大阪大谷大学の学生が参加、地元大学とのコラボが実現し、少し若返った「ひろとん」となりました。

2014年度の活動として、スマートフォンメーカーサムスン電子の社会貢献事業『スマートスクール』の後継として2015年度より「スマホサロン」を開催しました。

スマホサロン@大阪の2015年5月～12月までの参加者数は、述べ816名で、南大阪の様々な施設で開催しました。また3月からは（株）ダイナステップが窓口となり、NTTレゾナント後援でgooの「やさしい格安スマホ教室」を開催。トライアルで2016年度8月まで、引き続き実施の予定です。

前年度に出版した「おはよう伝言板」の影響もあり、2015年度は講演会も増えました。明石市高齢者大学あかねが丘学園、南河内のつどい、NPO法人宇治大好きネットなど、高齢者と見守りについて講義をしました。

2015年9月、エルダーコミュニケーションテクノロジー協会を設立しました。目的は、全国各地のICTによる高齢者支援または、高齢者にICT使用を推進するNPO法人や企業・任意団体・個人が連携協力し、事業を行うことで、ICTの持つメリットを最大限活用し、高齢になってもいきいき暮らせる地域社会形成に寄与することです。昨年度（2015年3月）の京都のNPO法人花パソ主催「スマホ&タブレット合奏で元気なシニアになろう事業」から引き継いだ「タブレット&スマホ合奏コンクール」を2016年4月に開催します。

きんきうえぶ正会員向けに5月より「ソーシャルメディア女子部」と称した勉強会を始めました。情報発信技術の底上げをし、きんきうえぶらしき女性らしきで発信力を高め、ICTで未来を変える一助になりました。

以上2015年度、全て、ICTを基盤とした活動として「人が個人の尊厳を保持され、その人らしい心豊かな人生を送ることができるまちづくりの形成」に、寄与するものとして実施致しました。

### III 事業の実施状況

#### 1 特定非営利活動に係る事業

##### 自主事業

- (1) (事業名) ICT 推進事業  
(内 容) 従来の個別指導のパソコン教室、集団のパソコン講座開催などの他、iPad 等のタブレットに関する講座を実施した。特にスマホサロン（スマホ教室）が人気であった。  
(実施場所) 富田林市小金台事務所、商工会（富田林市、大阪狭山市、河内長野市など）すばるホール、青少年センター、富田林市市民会館、羽曳野市市民会館、MOMO プラザ・羽曳野市立生活文化情報センター LIC はびきの、河内長野市市民交流センター、河内長野市内公民館、大阪狭山市公民館等。  
(実施日時) 2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日 延べ参加者 6,188 人  
(事業の対象者) 富田林市・羽曳野市・河内長野市・太子町・河南町・堺市およびその周辺住民  
(収 入) 9,526,869  
(支 出) 8,722,597
- (2) (事業名) PC サークル運営事業  
(内 容) パソコン勉強会（はびきのうえぶ・とんだばやしうえぶ、別紙参照）でのホームページ作成、画像、HTML など  
(実施場所) 大阪府富田林市・羽曳野市の各公民館・市民会館等  
(実施日時) 1 年を 3 ヶ月ずつの 4 クールに分け実施  
はびきのうえぶ延べ 75 回、とんだばやしうえぶ延べ 72 回  
(事業の対象者) はびきのうえぶ 454 名、とんだばやしうえぶ 696 名  
(収 入) 129,470  
(支 出) 114,240

##### 受託事業

- (1) (事業名) 介護予防事業  
(内 容) 街かどデイハウスきんき茶ろん、定点型介護予防教室、定点型認知症予防教室、独居高齢者見守り事業など、富田林市より委託  
(実施場所) 富田林市小金台事務所  
(実施日時) 2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日  
(事業の対象者) 富田林市内高齢者（65 才以上）  
(収 入) 5,447,400  
(支 出) 5,462,665
- (2) (事業名) 市民公益活動支援センター  
(内 容) 市民公益活動・ボランティア活動をしている人、したい人、関心のある人、学びたい人、交流したい人が気軽に使えるふれあいの場の提供。  
富田林市より委託。  
多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応し、市民生活のさらなる発展を期するために、今後の行財政運営は、民間の知恵や活力を導入するとともに、地域のボランティアやNPO等の市民活動との協働を図る必要がある。  
専門的な技術やノウハウを持つボランティア・NPOがともによきパートナーとして、まちづくりに参加できる環境を整備する。具体的には、市民公

益活動に関する情報の提供、市民公益活動及びNPO法人設立の相談、また  
NPO・ボランティア講演会や市民公益活動推進関連講座等の開催を行う。

(実施場所) 富田林市小金台事務所  
(実施日時) 2015年4月1日～2016年3月31日  
(事業の対象者) 富田林市内の市民、団体  
(収入) 5,271,420  
(支出) 5,666,277

#### IV 社員総会の開催状況

##### 第13期通常総会

(日時) 2015年5月17日 11時30分から13時  
(場所) きんきうえぶ小金台事務所  
(社員総数) 26名  
(出席者数) 23名(うち委任状出席者7名)  
(内容) 第1号議案 2014年度の事業報告書の件  
第2号議案 2014年度会計報告書の件  
第3号議案 2014年度監事報告について  
第4号議案 2015年度事業計画・予算の件  
(審議結果) 各議案について、全員異議なく承認し、本案は可決された。

#### V 理事会その他の役員会の開催状況

##### 1 平成27年度理事会

年間を通じて 1回

(内容) 第1号議案 道端理事の辞任について  
第2号議案 平成26年度事業報告について  
第3号議案 平成26年度会計報告について  
第4号議案 平成27年度事業計画・予算について  
第5号議案 議事録署名人について

(審議結果) 各議案について、全員異議なく承認し、本案は可決された。

##### 2 運営会議(街かどデイハウスきんき茶ろん及び、事務局会議、クラブ代表者会議など)

年間を通じて 17回 各部門の調整及び情報交換

2014年度 特定非営利活動に係る活動計算書

特定非営利活動法人きんきうえぶ

2014年 4月1日から 2015年 3月31日まで

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1 入会金・会費収入		
正会員受取会費	40,000	
賛助会員受取会費	18,000	
入会金	8,000	66,000
2 受取寄付金	451,000	451,000
2 事業収入		
自主事業		
ICT推進事業	19,783,078	
PCサークル運営	101,960	
おおさか地域創造ファンド	714,000	
FAAVO大阪	2,124,812	
おはよう伝言板	31,500	22,755,350
受託事業		
街かどデイハウス	3,000,000	
実費徴収	1,231,000	
介護予防事業	1,319,400	
市民公益活動支援センター	5,754,420	11,304,820
3 その他収益		
受取利息	208	
雑収益	312,315	312,523
経常収益計		34,889,693
<b>II 経常費用</b>		
1 事業費		
(人件費)		
給料手当	1,737,675	
人件費計	1,737,675	
(その他経費)		
事業支出	546,000	
業務委託費	17,743,963	
諸謝金	1,710,500	
印刷製本費	1,686,573	
会議費	161,572	
旅費交通費	1,396,979	
車両費	100,795	
通信運搬費	1,192,257	
消耗品費	843,586	
食材料費	733,341	
水道光熱費	460,164	
地代家賃	2,664,000	
賃借料	2,012,916	
減価償却費	66,300	
保険料	5,600	
諸会費	1,297,490	
租税公課	5,600	
支払手数料	139,616	
その他経費計	32,767,252	
事業費計		34,504,927
2 管理費		
(人件費)		
(その他経費)		
租税公課	166,500	
その他経費計	166,500	
管理費計		166,500
経常費用計		34,671,427
当期正味財産増減額		218,266
前期繰越正味財産額		3,102,094
次期繰越正味財産額		3,320,360

※ 当該年度はその他の事業の実施を予定していません。

2015年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

2016年 3月 31日現在

科 目	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	3,751,102		
未収金	2,190,728		
前払費用	9,800		
流動資産合計		5,951,630	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	1,380,000		
什器備品	896,000		
減価償却累計額	△ 2,069,409		
有形固定資産合計	206,591		
(2)無形固定資産	0		
無形固定資産合計	0		
(3)投資その他の資産	0		
投資その他の資産合計	0		
固定資産合計		206,591	
資産合計 (A)			6,158,221
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,763,638		
預り金	111,634		
流動負債合計		1,875,272	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			1,875,272
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		3,320,360	
当期正味財産増加額 (減少額)		962,589	
正味財産合計 (C)			4,282,949
負債及び正味財産合計 (B) - (C)			6,158,221

# 2015年度の事業会計財産目録

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

2016年3月31日現在

科 目	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
(現金・預金)			
現金	3,505,937		
普通預金	228,657		
三菱東京UFJ	(126,692)		
近畿大阪	(83,137)		
りそな	(23,772)		
三井住友	(5,056)		
ゆうちょ	(△10,000)		
当座預金	3,508		
ゆうちょ	(3,508)		
定額貯金	13,000		
現金・預金計		3,751,102	
(売上債権)			
未収金	2,190,728		
		2,190,728	
(その他流動資産)			
前払費用	9,800		
		9,800	
流動資産合計		5,951,630	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	1,380,000		
什器備品	896,000		
減価償却累計額	△ 2,069,409		
有形固定資産合計		206,591	
(2)無形固定資産	0		
無形固定資産合計		0	
固定資産合計		206,591	
資産合計 (A)			6,158,221
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,763,638		
預り金	111,634		
流動負債合計		1,875,272	
負債合計 (B)			1,875,272
正味財産 (A) - (B)			4,282,949